

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 10 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700038		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 廿日市東		
所在地	広島県廿日市市桜尾本町3番21号 (電話) 0829-34-3800		
自己評価作成日	令和5年8月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492700038-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気の中でお一人おひとりの性格や生活歴を重視し心に寄り添う支援をしています。また、利用者様同士の交流ができるようリビングの席の工夫やスタッフが間に入り会話につながる様配慮しています。苑での食事は食材の購入から調理まで苑で行い、スタッフ各々が家庭的な味を1日3食提供させて頂いています。他にも、天気の良い日・季節にはご近所へ散歩に出掛け、お庭に咲いた「桜・あじさい・バラ・もみじなど」をご覧いただき四季を感じて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者に身近に寄り添うこと、家庭的な雰囲気の中で楽しく穏やかに過ごせることを意識することを重要視し日々の関わりや支援に努めている。食事は一汁三菜を基本に、三食手作りにて提供している。メニューは当日に考える体制であり、その日に食べたいものや季節での食材を使用するなど利用者の意向を反映した食事作りを行っている。その他にも調理レクや年二回お寿司のケータリングを企画するなど、充実した食への取り組みが利用者の楽しみに繋げている。コロナ禍で外出を控える分、日々のレクリエーションや毎月行事を計画し、様々な活動を実施している。できあがった作品などは掲示し利用者の思い出話に花が咲き笑い会えるような日常の生活がある。今年は地域の大きな行事があり、大きな楽しみの一つである「大名行列」にも久々に参加することができ、地域住民とのふれあいの機会を持つことができた。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「苑の理念」と「スタッフの改善」を毎朝の申し送りで唱和し、日々の業務で実践出来るよう努めている。	開設からの理念を念頭に、別途策定する「スタッフの改善」には基本をしっかり行う姿勢を明記し、適宜見直しを図り全員が一丸となり取り組む方向性を明確化している。毎日朝礼で確認や施設長が適宜現場にて指導を行い理解を深めている。職員個々に年間目標を作成し振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、利用者様との散歩時や職員の出勤時には、挨拶を交わし、顔なじみの関係を作っている。	町内会に加入しており、回覧板にて地域情報を得ている。ホームのチラシを近所に配り情報発信することや、散歩の途中で近所の人と立ち話をしたり日々地域との身近な付き合いを継続している。コロナ禍で交流を控えていたが、近所のボランティアで詩吟など披露してもらうことを再開している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	高齢者施設に関する質問や相談には電話や玄関先で対応している。またコロナ前に実施していた年数回の介護相談会、施設見学会を今秋から再開を予定している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在開催できていないが、市・町内会・民生委員・ご家族様に苑の行事や誕生日会など現状報告を行っている。	現在、対面での実施は控え書面にて開催を継続している。苑の情報を資料として事前に郵送し周知に努めている。昨年より全家族へ資料を送っており意見も返ってくるが増えている。コロナ禍以前は会議内で薬局や消防署職員などを招き講演を併せて実施し趣向を凝らし実施している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険に関する情報や研修案内を市からメールを頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換を行っている。	運営推進会議に市の介護高齢課や地域包括支援センターの参加が適宜あり、情報交換や共有を行ってきた。介護保険に関する情報や運営上における解釈など必要に応じて適宜市の担当窓口を確認している。市が主催する研修もコロナ禍で控えていたが、今後意欲的に参加を検討している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修会を定期的開催し、職員全員に身体拘束の危険性を理解して拘束をしないケアに努めている。	研修会を定期的実施し、身体拘束適正化検討委員会で周知に努め、身体拘束に関して意識を敏感に持てるように取り組んでいる。スピーチロックへの理解や、センサーの必要性を定期的に検討し、利用者に待ってもらう時も意図や時間を明確に伝え理解を得るよう取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し日々のケアを見つめなおしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際には十分時間をとり、分かりやすく説明を行う事を心懸けている。ご家族様に理解・納得をして頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にご家族様から意向・要望を伺い、利用者様について報告や相談を行っている。頂いたご意見を反映出来るよう努めている。	家族からは面会時や連絡時などに意向を確認している。食事の様子が見たい要望にもタブレットに食事風景を写真に撮り確認してもらうなど対応を行っている。利用者へは毎日の関わりから意向の把握が行えており、ジャンプの持参や食べたい食事メニューに反映している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回定期的に行うスタッフ会議に必ず代表取締役の出席を仰ぎ、職員からの意見や提案に耳を傾ける機会を設けている。	法人代表取締役が毎月会議に参加することや日々の業務の中で管理者に相談ができ意見をあげやすい環境がある。勤務に関して人数の相談を適宜受け、法人他事業所から支援が受けられるように調整することや行事企画に必要な物品購入、希望する研修受講など柔軟に対応がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に来られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前又は入居時にご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	不安なく入居して頂けるように面談やご家族様と電話で話を伺う機会をこまめにとり、信頼関係を構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の「ADL」や「思い」ご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日常生活をこまめにお伝えし、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまでの人間関係やご近所付き合いを把握し、散歩コースには利用者様の馴染みの場所を選び懐かしく思い出されるように支援している。	昔の事業所周辺地域を知る方には散歩コースに馴染みの場所を選定し回想を深めたり、地域の話で昨今の変化を通し懐かしむことができるよう会話を工夫している。馴染みの美容師に来所してもらいカットを行うことや、受診時に車で自宅近所を回って帰るなど個々の繋がりを大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族からは来苑された機会にお聞きしたり、電話で意向を聞く事もある。入居者様には直接希望を伺っている。自分の思いを表すのが難しい方へは普段の会話の中や介護スタッフとも話し合い意向を確認している。	利用開始時に家族への聞き取りやこれまでの生活を記入してもらう他、これまでの生活歴など個人の背景を理解している。職員の日々の関わりを通して把握する内容や意見を重要視し、自分のペースで過ごしたいなどそれぞれの意向をプランに繋げ反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	前施設のサマリー、入居前にご家族様に書いて頂く暮らしの情報からの把握やご本人から直接お聞きする事で把握に努めている。また、本人との関わる事が多い介護スタッフからも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプラン実施表・経過記録・毎朝の申し送り、看護師との情報共有、実際にご本人に対応したり観察から把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は介護職、看護師、他スタッフとの話や本人・家族の意向確認により介護課題は状態変化の都度対応を話し合っている。</p>	<p>介護職や看護職、医師など多職種での視点にて意見を交え検討を行っている。計画作成者が各職員個別に状況を確認しとりまとめ原案を作成し、職員全員で確認し本プランを位置付けている。ケアプラン実施表にて取り組みを毎日確認し、モニタリング実施も併せ適宜計画に反映している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護職の経過記録だけでなく看護師、他スタッフとの情報・課題共有をし、必要な見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人・家族のニーズを尊重したサービスが必要であるが態勢の範囲内で努力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。協力医の訪問診療他必要時、緊急時は常にかかりつけ医と連絡とれる体制が出来ている。</p>	<p>利用開始時に協力医や苑の協力医療機関体制を説明し、これまでのかかりつけ医も選択は自由であることを伝え決定している。受診は家族の協力を得て行っている。専門科への受診も適宜行い、受診の際は状況をまとめて伝えられる様式も準備し詳細に伝わり診療が行える体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	夜勤者が朝の申し送り時に夜間の気づきを伝え、日中はその都度報告をしている。看護師は個々のかかりつけ医に相談し看護を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関にホームの生活・ケア等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり医療連携室の担当者から電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、その時を迎えた場合ご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。ご利用者様の状態を常に報告し再度意思確認を行う。	利用開始時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明し、事業所で出来る内容を伝え理解を得ている。実際に看取りの状況となった時は家族、主治医、職員で十分に話し合いを持ち、方針を決め取り組んでいる。医療が必要な場合など対応が難しい時は適宜関係病院と連携している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変・事故発生時に対応出来るよう、マニュアルがあり、慌てずに行動出来るよう周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	月1回の日中・夜間消防訓練は利用者様と共に行っている。また、11月には防災月間として、水消火器による消火訓練を行っている。災害対策については3日分の食糧の備蓄・簡易トイレなどを備えている。また、ダウンジャケットも用意している。	ハザードマップ上水害が想定されるエリアであり、避難方法や備蓄など体制を整備している。毎月消防訓練を実施し、11月は特に防災月間として位置付け訓練の意識を高め実施している。避難経路を各階に掲示し、緊急連絡網を張り出し有事の際にすぐに初動が行えるよう体制を整えている。	地域との連携や協力ができる体制が十分に整えられていません。今後、近隣住民をはじめ、地域との協力体制の相互確認、防災活動への参加などにて有事の際にしっかりと対応が取れるように体制を構築していくことを期待します。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様に合った声かけをしている。自己の言動を見つめ直す為定期的にセルフチェックシートを使って意識向上に努めている。	尊厳を念頭に取り組んでいる。言葉遣いは丁寧語を心掛けるが、利用者個々に合わせ砕けた親しみのある話し方など、声掛けや会話を選択しコミュニケーションの幅を広げている。職員も毎月セルフチェックシートにて言動を見つめ直している。書類関係は施錠できる棚で管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、2ヶ月に1回訪問理美容でカットされる時、どのような髪型を希望されるかをお聞きして希望の髪型にされ、いつも綺麗にいて頂くように支援している。また、入居前に使用されていた化粧品なども自由に使用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食すべて職員の手作りの食事は見た目も食欲をそそる様に色合い良く、また温かい物は温かく冷たい物は冷たく召し上がって頂いている。利用者様には食後のお盆ふき、テーブル拭き等を手伝って頂いている。	毎食一汁三菜を基本とし、三食とも手作りで提供している。温かいものは温かく、冷たいものは冷たくして提供している。つくしの笠取りや箸を並べたり、テーブル拭きなど手伝いが活躍の機会となっている。たこ焼きやホットケーキなど調理も実施している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、個別にトイレでの排泄を促している。</p>	<p>排泄表で確認し個々の排泄の間隔やリズムを掴み個別のトイレでの排泄を行っている。適宜誘導を促しパッド使用回数が減った例がある。生活全般を意識して夜間ポータブルトイレの使用や、介護計画と連動させながら下肢筋力が衰えてトイレに行けなくなることを防いでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には別の日におすすめしている。</p>	<p>週2回午後より入浴機会を提供している。気分が乗らない時などは無理強いせず日にちや時間を変更し柔軟に対応している。湯温や時間、好みのシャンプーの持参をはじめ、着替えの服も気に入ったものを選んで着れるようなど、個々に選択でき入浴が楽しみとなる支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の生活習慣を継続した睡眠時間に合わせている。夜間眠れない時は無理強いないせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者様が内服されている薬は個々のファイルに保管され、副作用、用法などを職員が確認できるようにして、副作用の早期発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ草花を通じて季節を感じて頂き気分転換も心掛けている。お墓参りはご家族様の協力を得ている。	外出は法人の決定をふまえながら実施している。事業所周辺では季節で草木花を観ることができ、散歩を交え季節を感じている。お墓参りなども家族の協力を得ながら行っており、コロナ禍以前では外出や外泊も希望に応じ取り組んでいた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に金銭管理は苑で行っている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>認知の為電話が掛けられない方にはスタッフが電話をかけお話ができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは温度管理を行い気持ち良く過ごして頂けるよう配慮している。また皆様が工作されたものを飾ったり、ぬり絵を飾っている。</p>	<p>リビングから調理台を眺めることができ、日常の中で食事調理の風景が望め、音や匂いなど五感に作用する生活が営まれている。家族から頂く季節の花が空間を彩り、ソファを配置し和んで過ごせる空間となっている。浴槽も手すりを整備し安全を確保している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>静かに過ごされたい方には無理強いせず、距離を置き安全に過ごして頂くよう見守っている。また、リビングにはソファを設置し、気の合う利用者様同士でお話できるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自室のチェストの上にはご家族様の写真やアルバム、ご家族様からのプレゼントを飾っている。また、ご家族様と相談しご自宅で使用されていた時計を持って来て頂いた。</p>	<p>エアコン、ベッド、カーテンが備え付けであり、その他は自宅で使っていた馴染みのものを自由に持参できるようにしている。居室には家族写真やアルバム、作品などを飾っており、利用開始前に自宅内の様子をみて配置なども整えるなど、それぞれに居心地の良い環境が作られている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビングや廊下はお一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。入浴時にはシャワーキャリーを使用し安全な入浴が出来るように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「苑の理念」と「スタッフの改善」を毎朝の申し送りで唱和し、日々の業務で実践出来るよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、利用者様との散歩時や職員の出勤時には、挨拶を交わし、顔なじみの関係を作っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	高齢者施設に関する質問や相談には電話や玄関先で対応している。またコロナ前に実施していた年数回の介護相談会、施設見学会を今秋から再開を予定している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在開催できていないが、市・町内会・民生委員・ご家族様に苑の行事や誕生日会など現状報告を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険に関する情報や研修案内を市からメールを頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の研修会を定期的開催し、職員全員に身体拘束の危険性を理解して拘束をしないケアに努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し日々のケアを見つめなおしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際には十分時間をとり、分かりやすく説明を行う事を心懸けている。ご家族様に理解・納得をして頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時にご家族様から意向・要望を伺い、利用者様について報告や相談を行っている。頂いたご意見を反映出来るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回定期的に行うスタッフ会議に必ず代表取締役の出席を仰ぎ、職員からの意見や提案に耳を傾ける機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に来られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前又は入居時はご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>不安なく入居して頂けるように面談やご家族様と電話で話を伺う機会をこまめにとり、信頼関係を構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の「ADL」や「思い」ご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日常生活をこまめにお伝えし、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>これまでの人間関係やご近所付き合いを把握し、散歩コースには利用者様の馴染みの場所を選び懐かしく思い出されるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族からは来苑された機会にお聞きしたり、電話で意向を聞く事もある。入居者様には直接希望を伺っている。認知の為、難しい場合は普段の会話の中や介護スタッフとも話し合い意向を確認している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	前施設のサマリー、入居前にご家族様に書いて頂く暮らしの情報からの把握やご本人から直接お聞きする事で把握に努めている。また、本人との関わる事が多い介護スタッフからも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプラン実施表・経過記録・毎朝の申し送り、看護師との情報共有、実際にご本人に対応したり観察から把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画は介護職、看護師、他スタッフとの話や本人・家族の意向確認により介護課題は状態変化の都度対応を話し合っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護職の経過記録だけでなく看護師、他スタッフとの情報・課題共有をし、必要な見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人・家族のニーズを尊重したサービスが必要であるが態勢の範囲内で努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。協力医の訪問診療他必要時、緊急時は常にかかりつけ医と連絡とれる体制が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	夜勤者が朝の申し送り時に夜間の気づきを伝え、日中はその都度報告をしている。看護師は個々のかかりつけ医に相談し看護を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関にホームの生活・ケア等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり医療連携室の担当者から電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、その時を迎えた場合ご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。ご利用者様の状態を常に報告し再度意思確認を行う。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変・事故発生時に対応出来るよう、マニュアルがあり、慌てずに行動出来るよう周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	月1回の日中・夜間消防訓練は利用者様と共に行っている。また、11月には防災月間として、水消火器による消火訓練を行っている。災害対策については3日分の食糧の備蓄・簡易トイレなどを備えている。また、ダウンジャケットも用意している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様に合った声かけをしている。自己の言動を見つめ直す為定期的にセルフチェックシートを使って意識向上に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、2ヶ月に1回訪問理美容でカットされる時、どのような髪型を希望されるかをお聞きして希望の髪型にされ、いつも綺麗にいて頂くように支援している。また、入居前に使用されていた化粧品なども自由に使用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食すべて職員の手作りの食事は見た目も食欲をそそる様に色合い良く、また温かい物は温かく冷たい物は冷たく召し上がって頂いている。利用者様には食後のお盆ふき、テーブル拭き等を手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の 咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に 対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保 持に努めている。また必要な方には訪問 歯科医による治療、また入居者様全員定 期的に口腔ケアも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで個々のリズムを 把握し、個別にトイレでの排泄を促して いる。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入 れるように心掛けている。また、適度な 運動を働きかけながら自力排便できるよ うに支援している。必要に応じて医師に 相談して薬でコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>ご希望の時間帯に入浴できる配分はでき ないが、入浴時に気分が乗らず、お断り される利用者様には別の日におすす めしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	ご本人の生活習慣を継続した睡眠 時間に合わせている。夜間眠れな い時は無理強いないで、ペースに あわせた支援を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	利用者様が内服されている薬は 個々のファイルに保管され、副 作用、用法などを職員が確認で きるようにして、副作用の早期 発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	1日の楽しみ、役割を持ち、張 りのある生活を送って頂くこと を心掛けている。散歩や3階の 花壇等で気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	天気の良い日にはADL、体調に 応じた距離で散歩に出かけ草花 を通じて季節を感じて頂き気分 転換も心掛けている。お墓参り はご家族様の協力を得ている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	基本的に金銭管理は苑で行って いる。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	認知の為電話が掛けられない方にはスタッフが電話をかけお話ができるよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースは温度管理を行い気持ちよく過ごして頂けるよう配慮している。また皆様が工作されたものを飾ったり、ぬり絵を飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	静かに過ごされたい方には無理強いせず、距離を置き安全に過ごして頂くよう見守っている。また、リビングにはソファを設置し、気の合う利用者様同士でお話できるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自室のチェストの上にはご家族様の写真やアルバム、ご家族様からのプレゼントを飾っている。また、ご家族様と相談しご自宅で使用されていた時計を持って来て頂いた。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	リビングや廊下はお一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。入浴時にはシャワーキャリーを使用し安全な入浴が出来るように工夫している。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑廿日市東

作成日 令和5年11月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用者様の運動不足による筋力低下。	筋力維持。(継続目標)	廊下歩行・スクワット・体操などレクリエーションに運動を取り入れ残存機能を保つ。	6か月
2	25	終日、居室内で過ごされておりコミュニケーションが取れていない。	リビングで過ごされる時間を作る。	毎日、レクリエーションや体操の際には参加の声掛けをする。	1年
3	11	各ユニットの業務に違いがある。	職員が利用者様全員への対応ができる。	職員のユニット移動を行う。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。